

1. 件名「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽6，7号機（550）」

2. 日時：平成29年3月30日 10時00分～10時55分

3. 場所：原子力規制庁 8階 D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎課長補佐、秋本安全審査官、小林（貴）安全審査官、沼田安全審査官、宇田川原子力規制専門職、糸賀原子力規制専門員

（安全技術管理官（シビアアクシデント担当）付）

堀田首席技術研究調査官

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 原子炉安全技術グループマネージャー 他5名

5. 要旨

- （1）東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉の重大事故等対策の有効性評価（格納容器破損防止対策）のうち、原子炉圧力容器外の熔融燃料-冷却材相互作用（FCI）の影響評価について説明があった。
- （2）原子力規制庁から、本日のヒアリングを踏まえて検討し、説明するよう指摘した。
- （3）東京電力ホールディングス株式会社より、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：（平成28年12月2日提出資料と同じ）

・解析コード（JASMINNE）説明資料（参考資料）